



防災会だより

第40号 発行 2014.03.19

発行責任者：防災会 橋本壽与

2013年度 主な事業実施報告と次年度への課題

防災会規則 第4条(事業)	2013年度 主な事業実施報告	次年度への課題
1. 防災についての知識の普及に関すること。	臨時防災研修会 10/26(土) 茅ヶ崎市防災対策課講師 テーマ〔災害に強いまちづくり〕において 松風台は 火災延焼運命共同体 (クラスター)であることを学びました。 例えば、冬季 風速 6m/秒の北風において1棟から出火し 放置した場合は、風下の隣家に次々と燃え広がり松風台 全戸が全焼してしまう恐れがあります。	<p><u>平和な日頃から常に</u></p>  <p>大災害時、平和時に拘らず 自宅から火災を発生させぬ ように 住宅用火災警報器 及び 家庭用消火器 を 松風台全戸に普及して 設置したい。</p>
2. 防災訓練の実施に関すること。	2.1 防災会員対象に 9/14(土) 東公園で 消防ポンプ、消火栓、ホースの取扱訓練実施 2.2 自治会員対象に 9/21(土) 南公園で消火器の紹介や取扱、避難移送の訓練 2/09(日) 自治会館で救護 三角巾取扱などの訓練 - 裏面①参照	<p>既に配備された資機材を 有効に使用できるように 維持管理を継続します。</p> 
3. 防災用資材、機材の備蓄及び維持管理に関すること。	3.1 消火栓による消火活動の改善 - 裏面②参照 消火栓による消火を早く安全に実施するために ホース搬送車を配備して機動性の向上 人身安全を配慮して消火栓 蓋の周りを柵で囲い 3.2 簡易トイレの試用 - 裏面③参照 防災倉庫に災害時の簡易トイレを配備しており 1/18(土)南公園でもちつき大会の機会に 実践的に試用してみました。	<p>既に配備された資機材を 有効に使用できるように 維持管理を継続します。</p> 
4. その他、本会の目的達成のため必要と思われること。	<p>松風台の高齢化率 は47%を超えています。</p> <p>大災害時のみならず、平和な日頃から松風台には助けを求めておられる方々は 下図の通りと想像されます。 平和時の防犯や健在確認も含めて隣近所の助け合い対策 が必要と思われ、次年度はこの件を自治会と一緒に推進したい。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 潜在的な要救済者 ???名 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 60px; text-align: center;"> 要援護者 32名 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 60px; text-align: center;"> *要介護認定者 76名 </div> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>*要介護認定者とは、 介護保険において、要支援1~2、 及び要介護1~5 を含めた方々で 松風台全体で76名おられ2014/1/7 現在の茅ヶ崎市の統計による。</p> </div> </div> 	

～下期の主な活動～

① 救護 三角巾の取扱などの訓練

様々な原因による人身の怪我は大災害時だけでなく、日頃 突然発生することがあります。
今年も、有元佳子救護班長 講師により応急手当方法の実技指導を受けました。

自治会館には、大災害時用に必要最小限の救護応急手当用品を備えています。各家庭でも もう一度 医薬品の点検も含めて

- ・有効期限が過ぎている物があれば更新して
- ・取扱方法が判らない用品があれば試行してみてください。



② 消火栓による消火活動の改善



松風台には合計 19 個所の路上に消火散水栓（通称：消火栓）が設置されています。

- ・ 大災害時に直ちに消火活動開始の為に、
ホース搬送専用車を新たに配備して、防災倉庫から火災現場まで移送します。
(従来はリヤカーに積んで、或いは人手で運ぶ予定でした)
- ・ 人身安全の為に、路上にある消火栓の蓋を開けて活動する場合はコーンと虎縞バーによる柵を設けます。

消火栓は、蓋の縁を正方形で黄色く囲ってあります



2月15日(土)は、28年ぶりの大雪に見舞われ松風台あちこちの玄関先や道路の雪かきが始まり、消防車も市内を巡回して路上に設置された消火栓の上を雪かきしていました。

茅ヶ崎消防署
からのお願い

消火栓の周りは常に、駐停車したり物を置いたりしないのは当然のことですが、自宅の近くにある消火栓の周りもぜひ一緒に雪かきに協力をお願いします。

消火栓
の蓋

③ 避難生活時の屋外簡易トイレの試用

各防災倉庫には備蓄資機材として簡易トイレも配備してありますが、今まで使用したことがなく もちつき大会が開催された機会に試用してみました。

段ボール組立式トイレをプライベートテントの中に入れて男女用を各々1台ずつ準備しました。

行事が午前中の短い時間であり、使用者(試用者?)が少人数で十分な評価が得られなかったので夏祭りでも再度試行してみたい。



何れにしても家庭で毎日使用している快適なトイレに勝るトイレは存在しません。

大災害が発生し自宅が倒壊しても生き残る為には、不便なトイレであっても使いこなす必要があります。

平和な日頃でも、断水や下水道が使用できない状態が発生すれば家庭にある水洗トイレが使用できません。

その時の為に、各家庭にも防臭凝固剤の備えを推奨します。

既に備えておられる家庭では、突然の断水を想定して一度試してはどうでしょうか?

試した後は、凝固処理済みのポリ袋を燃えるゴミとしてゴミステーションに出すことができます。—以上—